

平成25年度予算の概要

平成25年2月

津島市

目 次

平成25年度当初予算の概要

平成25年度予算編成について	1
一般会計	9
市長公室	18
総務部	20
市民協働部	23
生活産業部	25
健康福祉部	29
建設部	37
消防本部	40
教育委員会	41
その他部局	46
特別会計・企業会計	
国民健康保険特別会計	47
住宅新築資金等貸付事業特別会計	53
コミュニティ・プラント事業特別会計	55
介護保険特別会計	57
流域関連公共下水道事業特別会計	61
後期高齢者医療特別会計	63
市民病院事業会計	65
下水道事業会計	69
上水道事業会計	73

※ 各資料については、計数整理の結果、異動を生ずることがある。

平成 25 年度 予算 編成 について

I 予算編成の基本的な考え方

平成 25 年度の財政状況の見通しは、歳入については、市税は微増が見込まれるものの、国からの地方公務員給与抑制の要求に基づき、地方交付税の総額が 6 年ぶりに削減されます。

一方、歳出については、財政改革行動計画に基づく行財政改革を着実に進めています。扶助費の増加や他会計への繰出金等の増加が見込まれることから多額の財源不足が生じています。基金の取崩しにより財源を確保していますが、将来の財政運営に向けて取崩しにも限界があり、本市財政は、依然として極めて厳しい状況にあります。

しかし、市民生活の安心・安全の確保など喫緊の課題に対応するとともに、中長期的な視点に立った必要なインフラ整備も進めていく必要があります。

このため、平成 25 年度の予算編成に当たっては、財源の確保を図るとともに、不要不急の経費の削減、事務事業の見直しなど歳出の抑制に努めました。また、市債発行額は微増していますが、主に交付税の振り替えである臨時財政対策債の増加によるものであり、市債残高については平成 24 年度末見込みに比べ平成 25 年度末は減少する見込みであり、財政健全化に向けた取組みも進めました。

こうした取組みにより、真に必要な分野への重点化を一層進め、限られた財源を可能な限り、重点的かつ効率的に配分する「選択と集中」を基本とし、「あらゆる世代が健康に暮らせるまちづくり」「自立と協働による支えあいと、歴史や伝統文化を活かした魅力あるまちづくり」「安心・安全・安定した生活のできるまちづくり」を実施してまいります。

- (1) 市民とともに歩む自立した行政経営
- (2) 健やかにいきいきと暮らせるまち
- (3) 生活と産業の調和した安心・安全なまち
- (4) 豊かな心と文化を育むまち
- (5) 快適な暮らしを支える基盤の整ったまち

Ⅱ 平成25年度予算の概要

1 予算の規模

一般会計、特別会計、企業会計の全会計を合わせ、前年度当初予算額に比べ2.2%増の446億6,611万9千円を計上することとした。このうち一般会計は、前年度当初予算額に比べ0.6%減の190億8千万円を計上した。

2 一般会計（歳入）

(1) 市税収入については、前年度当初予算額に比べ0.5%増の83億8,970万7千円を計上した。

(2) 地方譲与税については、地方財政計画などから、前年度と同額の1億7,000万円を計上した。

(3) 地方交付税については、市税収入の状況、地方財政計画などから、前年度当初予算額に比べ1.8%増の28億6,000万円を計上した。

(4) 国庫支出金は、前年度当初予算額に比べ0.9%減の22億5,377万2千円、県支出金については、前年度当初予算額に比べ16.5%減の11億9,394万2千円を計上した。

(5) 市債については、地方債計画、地方債同意等基準などから、前年度当初予算額に比べ0.6%増の15億7,590万円を計上した。

3 一般会計（歳出）

主な投資的事業としては、斎場整備工事、消防ポンプ自動車の整備、神守中学校北館屋上防水等改修工事、継続して実施している主要幹線道路整備、街路整備等に取り組み、その他経常的経費については、財政改革行動計画に基づき徹底的な合理化を図ることにより節減に配意した。

以下、津島市第4次総合計画の基本構想に定める施策の大綱5項目を基本に事業を推進する。

(1) 市民とともに歩む自立した行政経営

主な事業は、

広報発行事業	8, 964千円 (P18)
ホームページ運営事業	1, 946千円 (P18)
行政経営改革推進事業	120千円 (P18)
各種統計調査事務事業	468千円 (P18)
人材育成事業	12, 903千円 (P19)
地域コミュニティ推進事業	48, 066千円 (P23)
市民協働事業	651千円 (P23)

など。

(2) 健やかにいきいきと暮らせるまち

主な事業は、

市民病院事業補助金	1, 263, 372千円 (P21)
心身障がい福祉事業	69, 535千円 (P29)
自立支援給付事業	629, 736千円 (P29)
地域生活支援事業	72, 091千円 (P30)
障がい児通所給付事業（新規）	62, 985千円 (P30)
地域支え合い事業	4, 967千円 (P31)
在宅医療連携拠点事業	1, 592千円 (P31)
放課後児童健全育成事業	40, 016千円 (P32)
児童手当・子ども手当	1, 182, 440千円 (P32)
予防接種・感染症予防事業	151, 729千円 (P34)
成人保健事業（健康診査等）	157, 401千円 (P34)
糖尿病予防対策事業	1, 252千円 (P34)

母子保健事業	65,870千円 (P34)
地域医療対策事業	19,136千円 (P35)
後期高齢者福祉医療扶助費	114,408千円 (P35)
障がい者医療扶助費	131,296千円 (P35)
精神障がい者医療扶助費	31,090千円 (P35)
母子家庭等医療扶助費	50,884千円 (P35)
子ども医療扶助費 (拡充)	172,325千円 (P36)
未熟児養育医療扶助費 (新規)	2,700千円 (P36)

など。

(3) 生活と産業の調和した安心・安全なまち

主な事業は、

災害対策事業	16,745千円 (P24)
防災訓練事業	1,311千円 (P24)
交通防犯対策推進事業	7,310千円 (P24)
斎場整備工事	269,930千円 (P25)
住宅用太陽光発電設備導入促進事業	8,000千円 (P25)
商工業振興事業	102,800千円 (P27)
尾張津島天王祭事業	24,368千円 (P28)
尾張津島秋まつり事業	6,348千円 (P28)
観光交流センター事業	9,000千円 (P28)
緊急雇用創出事業基金事業	
津島市観光客誘致のためのPR業務	12,177千円 (P28)
消費者行政事業	1,211千円 (P28)
交通安全対策事業	16,000千円 (P38)
緊急雇用創出事業基金事業	
天王川公園等夜間治安パトロール業務	10,595千円 (P38)
消火器購入事業	1,339千円 (P40)
通信指令台共同運用負担金	7,846千円 (P40)
消防ポンプ自動車整備事業 (新規)	18,000千円 (P40)
緊急雇用創出事業基金事業	
東公園周辺外夜間治安パトロール業務	14,999千円 (P45)

など。

(4) 豊かな心と文化を育むまち

主な事業は、

国際・国内交流事業	3, 138千円 (P18)
人権施策推進事業	930千円 (P25)
外国青年招致事業各種負担金	
/外国語指導助手の配置 (拡充)	1, 309千円 (P41)
豊かな心を育てる活動事業 (新規)	6, 000千円 (P41)
神守中学校北館屋上防水等工事 (新規)	17, 027千円 (P42)
文化振興事業	2, 394千円 (P44)
放課後子ども教室推進事業	16, 582千円 (P44)
生涯学習センター事業 (新規)	29, 280千円 (P45)
スポーツ施設管理事業	102, 976千円 (P45)

など。

(5) 快適な暮らしを支える基盤の整ったまち

主な事業は、

巡回バス運行事業	26, 075千円 (P18)
合併処理浄化槽普及促進事業	11, 330千円 (P26)
道路維持修繕事業	406, 789千円 (P37)
道路新設改良事業	34, 300千円 (P37)
橋りょう長寿命化事業	4, 000千円 (P37)
下水路整備事業	21, 900千円 (P38)
昭和南本町線整備事業	9, 000千円 (P38)
緑化推進事業	402千円 (P38)
民間木造住宅耐震診断事業	3, 150千円 (P39)
民間木造住宅耐震改修事業	12, 400千円 (P39)

など。

4 特別会計

いずれも、前年度当初予算額に比べ、
国民健康保険会計は、2.0%増の64億7,106万8千円、
住宅新築資金等貸付事業会計は、16.0%減の906万2千円、
コミュニティ・プラント事業会計は、12.3%減の8,617万2千円、
介護保険会計は、5.3%増の41億3,701万円、
流域関連公共下水道事業会計は、24.1%増の9億4,849万9千円、
後期高齢者医療会計は、1.1%減の11億7,590万6千円を
それぞれ計上した。

5 企業会計

企業会計については、企業性を発揮するとともにサービスの充実に配
意しつつ、公共の福祉を増進し、さらに地域づくりに積極的な役割を果
たしていくこととする。

また、一層の経営努力を行い、経営の健全化と活性化を推進し、経営
基盤の強化を図るとともに、特に経費の節減に努め予算編成をした。

市民病院事業会計では、市民病院改革プランの実現に向け、医業収益
として86億9,509万5千円を計上した。また、医療器械備品購入
費として、3億2,325万円を計上した。

下水道事業会計では、合流式下水道改善工事費等として9,670万
1千円、上水道事業会計では、配水管改良工事費等として3億7,28
0万1千円を計上した。

1 総 額

(単位：千円)

会計名	当初予算	前年 対比 (%)	平成24年度予算		比較増減		
			当初	最終見込額	当初比	最終比	
一般会計	19,080,000	99.4	19,200,000	20,103,246	▲ 120,000	▲ 1,023,246	
特別会計	国民健康保険	6,471,068	102.0	6,342,931	6,645,532	128,137	▲ 174,464
	住宅新築資金等貸付事業	9,062	84.0	10,783	10,783	▲ 1,721	▲ 1,721
	コミュニティ・プラント事業	86,172	87.7	98,205	98,205	▲ 12,033	▲ 12,033
	介護保険	4,137,010	105.3	3,927,583	4,170,235	209,427	▲ 33,225
	流域関連公共下水道事業	948,499	124.1	764,503	804,762	183,996	143,737
	後期高齢者医療	1,175,906	98.9	1,189,276	1,225,216	▲ 13,370	▲ 49,310
	計	12,827,717	104.0	12,333,281	12,954,733	494,436	▲ 127,016
企業会計	市民病院事業	10,286,541	101.7	10,115,149	10,126,809	171,392	159,732
	下水道事業	621,101	122.2	508,318	508,318	112,783	112,783
	上水道事業	1,850,760	119.4	1,550,015	1,577,347	300,745	273,413
	計	12,758,402	104.8	12,173,482	12,212,474	584,920	545,928
総計	44,666,119	102.2	43,706,763	45,270,453	959,356	▲ 604,334	

